



農業体験学習を開催

食の大切さ、食を支える農業の大切さを作物を育てることから知ってもらおうと、能代市立湊城西小学校5年生66人を対象に農業体験学習を5月12日に開催しました。この体験学習はJ A営農部近くの畑を利用して年4回行われ、児童たちがJ A女性部員や能代市農業技術センター職員を講師に、様々な作物の植え付けから収穫までを体験します。



初回となった5月12日は、あいにくの雨で野菜の植え付けができませんでしたが、営農部の保冷库や出荷所を見学し、J Aの担当者から特産の『白神ねぎ』の荷受けから出荷までの流れや、実際に育苗ハウスに入りどのように生長していくかを学びました。

また、講習会では女性部と農業技術センターの職員が講師となり、じゃがいもとねぎの植え方を説明したほか、普段食べている野菜がどのように作られているかを説明しました。

晴天となった2回目の6月2日には、さつまいもやかぼちゃ、ねぎなどの定植を行いました。児童たちは説明を受けた通りさつまいもの苗の葉が土の外に出るよう、気をつけながら植えていき、その後かぼちゃも植え元気に育つようにと水を掛けていきました。また、ねぎの定植では、農業技術センターの職員から教えてもらい、チェーンポット苗を簡易移植機「ひっぱり君」で定植し、優しく土をかけていきました。児童からは「こんな小さい苗が大きくて太いねぎになるとは思わなかった。収穫が待ち遠しいです」といった感想が聞かれました。



↑女性部員と一緒に楽しく作業



↑一生懸命ひっぱりました

環境美化活動

女性部の各支部ではJ Aを利用されるお客様により良い環境を提供しようと支店の花壇整備を行っています。この活動には、支店を拠点とした協同活動の一環として支店職員も参加しています。

このうち女性部二ツ井支部は、5月24日に二ツ井支店の花壇整備を行いました。当日は女性部員16人が参加し、支店の前にある花壇にマリーゴールドやペチュニア、ひまわりなどを丁寧に植えていきました。

また、各支店においても女性部員が協力し花の苗を植え、支店の前は色とりどりの花で鮮やかになりました。さらに、活動を通して女性部員と支店職員の交流も深めることができました。

